

# 国際標準指定色を用いた 識別しやすい色の研究

デザイン技術グループ 角坂 麗子  
TEL : 03-5530-2180

本研究では、国際標準指定色Pantoneを用いて、色覚障害者（1型・2型）および正常色覚者が、ともに識別しやすい色と配色の抽出について研究を行った。

## 内容・特徴

- プロダクトやグラフィックなどマルチな用途で使用される世界共通のカラースタンダードシステムを用いることで、国内外へのスムーズな色指示や、幅広い製品開発への応用が期待できる。
- 白背景・黒背景で識別可能な色を抽出(図1)
- 取り出して検討できる色見本帳を作成(図2)

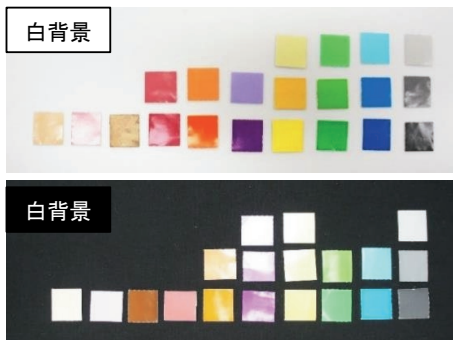


図1 白背景・黒背景での色抽出



図2 色見本帳

## 従来技術に比べての優位性

- ① 色数が増え、デザインの自由度が向上
- ② プロダクトデザインでも使用可能、国内外での色指示がスムーズに行える
- ③ イメージを共通にもつ配色の提案

## 予想される効果・応用分野

- ① 色覚を問わず、正しく情報を伝える
- ② プロダクト・グラフィック・パッケージなどの製品開発支援
- ③ 医療機器・計測機器・オリパラ関連

共同研究者 酒井日出子（デザイン技術グループ）

## 提供できる支援方法

- 技術相談
- 共同研究
- オーダーメイド開発支援

## 知財関連の状況、文献・資料

### ➢ 文献・資料

- [1] カラーユニバーサルデザイン機構他：カラーユニバーサルデザイン推奨配色セットガイドブック
- [2] 斎藤晴美他：色覚特性による配色印象の違い，日本色彩学会誌34, 56-57 (2010)
- [3] 武川カオリ：色彩力 Pantone カラーによる配色ガイド，ピエブックス (2007)